

# 線形代数 6.1.03

## 1次写像と単射性・全射性・同型

K. Yoshitomi

大阪府立大学

2017

この動画は培風館「理工系新課程線形代数基礎から応用まで」[改訂版]に準拠しています。  
スライドは <http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~yositomi/slide/LA2-2017/> にあります。

# 線型写像と単射性

★  $f: V \rightarrow W$  を線型写像とする. このとき:

$f$  が単射  $\Leftrightarrow f(v) = 0_W$  となる  $v$  は  $0_V$  のみ.

$\therefore (\Rightarrow)$   $f$  は線形写像だから  $f(0_V) = 0_W$  である.

$f(v) = 0_W$  とする.  $f(v) = f(0_V)$  だから,  $f$  が単射ならば  $v = 0_V$  となる.

すなわち,  $f(v) = 0_W$  ならば  $v = 0_V$  である.

Q. 逆を示せ.

# 線形写像の単射性と1次独立性

$f: V \rightarrow W$  を線形写像,  $v_1, v_2, \dots, \in V$  とする.

★  $f(v_1), \dots, f(v_m)$  が1次独立ならば  $v_1, \dots, v_m$  は1次独立.

★  $f$  単射のとき, 上の逆が成り立つ. すなわち,  
 $f$  が単射,  $v_1, \dots, v_m$  1次独立ならば  $\Rightarrow f(v_1), \dots, f(v_m)$  1次独立.

特に単射  $f: V \rightarrow W$  が存在するならば  $\dim V \leq \dim W$

Q. 下線部「特に...」の部分の説明せよ.

Q. 任意の1次独立な $V$ のベクトルの系を 1次独立な $W$ のベクトルの系に写すような1次写像 $f$ は単射であることを示せ.

ヒント:1つのベクトルが1次独立であることは0でないことと同値.

# 線型写像と全射性

$f: V \rightarrow W$ :線型写像,  $S$ を $V$ を生成する任意の集合: $V = \langle S \rangle$ とする.

★  $f$  が全射 $\Leftrightarrow W = \langle f(S) \rangle$  ただし,  $f(S) = \{f(v) | v \in S\}$

特に全射が存在  $\Rightarrow \dim V \geq \dim W$

$\therefore S = \{v_1, \dots, v_m\}$  とする(簡単のため有限集合とする).

( $\Rightarrow$ )  $f$  全射と仮定する.

$w \in W$ を任意のベクトルとすると,  $v \in V$ が存在して  $f(v) = w$ .

$V = \langle S \rangle$  より  $c_i$  ( $i = 1, 2, \dots, m$ ) がとれて,  $v = \sum c_i v_i$ .

$w = f(v) = \sum c_i f(v_i) \in \langle f(S) \rangle$  である.

Q. ( $\Leftarrow$ ) を示せ.

Q. 下線部「特に...」を示せ

## 同型写像とベクトル空間の同型

全単射な同型  $f: V \rightarrow W$  が存在するとき,  $V$  と  $W$  は同型という.

(1)  $f: V \rightarrow W$  が同型(全単射な線型写像)  $\Rightarrow \dim V = \dim W$

(2)  $\dim V = \dim W \Rightarrow$  同型  $f: V \rightarrow W$  が存在.

(3)  $V$  と  $W$  が同型  $\Leftrightarrow \dim V = \dim W$ .

$\therefore$  (1):  $v_1, \dots, v_m: V$  の基底,  $f$  同型ならば,  $f$  の単射性より

$\dim V \leq \dim W$   $f$  の単射性より  $\dim V \geq \dim W$ .  $\therefore \dim V = \dim W$

**Q.** (2)を示せ.

注 (3)は (1), (2)と同型の定義から明らか.

次回「1次写像の核と像の定義」